

# 外国人住民の安全と安心のための日本語教育

一般公開プログラム（入場無料・申込不要）

外国人住民と共に考える安心安全な町づくり  
—日本語教育から見たリスク・コミュニケーション—

パネリスト：大胡田裕氏（静岡県立沼津城北高校）、倉野康彦氏（HUGのわ）、竹田晃子氏（立命館大学）、下村健一氏（白鷗大学）、コメンテーター：ジョン利栄増子氏（セルヴィツォ）、司会進行：衣川隆生（名古屋大学）

2018年  
11月24日(土)・25日(日)  
プラサ ヴェルデ

(静岡県沼津市大手町1-1-4)

後援：沼津市教育委員会

**お申込み方法・料金** ◆大会参加費：【事前登録 ※登録完了後、予稿集がダウンロードできます】会員 3,500円/会員（学生証をお持ちの方）2,000円/会員でない方 5,000円【当日受付】一律 5,000円 ◆懇親会費：【事前登録】一律 3,000円 ◆事前登録期間：2018年10月16日(火)～11月15日(木) ◆学会ホームページ (<http://www.nkg.or.jp/>) 上の「マイページ」からお申込みください。

**お問合せ先** TEL: 03-3262-4291 / E-mail: [taikai-office@nkg.or.jp](mailto:taikai-office@nkg.or.jp) (前日18時まで) / TEL: 090-1999-3315(当日のみ)

## 日本語教育学会秋季大会

### 大会日程(概要)

#### 24日(土)

- 10:00 一般公開プログラム (9:30 受付開始)
- 12:00 各種企画
- 13:00 開会式
- 13:45 交流ひろば
- 14:00 パネルセッション(第1部/第2部)
- 17:30 懇親会

#### 25日(日)

- 9:00 代議員懇談会
- 9:30 口頭発表(午前の部)
- 10:50 ポスター発表(第1部)
- 12:10 各種企画
- 12:40 ポスター発表(第2部)
- 13:30 口頭発表(午後の部)
- 14:30 ポスター発表(第3部)

大会受付、賛助会員出展ブース

- 24日(土) 12:00-17:00
- 25日(日) 8:45-15:00

### 企画プログラム

#### 一般公開プログラム(入場無料・申込不要)

今大会のテーマ(ポスター冒頭に記載)を受け、「災害時の日本語によるコミュニケーション」に焦点を当てて議論します。

#### 賛助会員出展ブース(入場無料・申込不要)

本出展ブースでは本会の賛助会員専用のブースを設け、各団体の紹介や最新情報の発信、書籍、教材等の展示をします。最新の書籍等を手にとって見られる絶好の機会です。また、参加者間のネットワーク作りの促進、日本語教育及び関連領域の情報提供、情報交流等の一助になればと考えています。

#### チャレンジ支援企画

大会会場で「わかばさん」にぜひお勧めしたい3つの特別プログラムを用意しました。非会員も大歓迎です。  
①素朴な疑問にお答えする「わかば・コンシェルジュ」②初めて参加する方向けに大会内容をダイジェストで紹介する「わかばさんいらっしゃい」③みなさんの先を歩いているセンパイとの対話の場「ぶらさ da わかば」

#### 交流ひろば

「交流ひろば」では、出展者の教育実践や研究の紹介・共有、そして参加者との情報・意見交換が行われます。同じ興味や問題意識を持つ者同士がネットワークを拡げることを目的とした企画です。ぜひ、一度足を運んで意見・情報交換に参加してみてください。

#### 地域発信企画「地域に根ざした安心・安全な町づくりのための取り組み」(入場無料・申込不要)

今年の地域発信企画のテーマは「地域に根ざした安心・安全な町づくりのための取り組み」です。静岡県内で日本語教育に関わる方々が、安心・安全な町づくりを目指してどのような実践や活動しているかをポスター、資料、実物などを通して紹介します。皆様との活発な情報交換、意見交換を期待しています。ぜひご参加ください。

#### 研究倫理セミナー：研究とその指導に必須の注意事項

研究とその指導の注意事項について意識化することを目的とした企画です。まず、調査研究のためのデータ収集、学会発表、論文作成・投稿などの研究倫理について情報提供します。次に、学部・大学院生の指導者が留意すべき点、ハラスメントの危険性などについて問題提起します。その後、参加者全体で意見交換を行います。



公益社団法人

日本語教育学会

大会サイトはこちら→



大会プログラムはこちら→

